

環境整備

公共施設の 整備

住み良いまち作りのために道路などの公共施設を整備します。

◎市道末広町線無電柱化（都市計画課）

3,763 万円

安全で安心して歩ける歩行空間や、災害時の避難経路を確保するため、市道末広町線の電柱類の地中化や美装化を進めます。

◆事業完了予定 令和5年度末

コンピュータグラフィックスによる末広町通りの整備イメージ



現況

計画(イメージ)

◎道の駅施設機能強化（田老・川井総合事務所）

1 億 3,230 万円

復興道路・復興支援道路の完成を見据え、道路利用者などを対象とし、立ち寄りたいたいと思えるような魅力ある目的地型「道の駅」を目指して、施設の機能強化を図ります。

◆道の駅たろう屋外屋根・遊具等設置工事（8,330 万円）

◆道の駅やまびこ館遊具等設置工事（4,900 万円）

◎浄土ヶ浜園地内駐車場等整備（観光課）

2,360 万円

浄土ヶ浜レストハウス周辺の駐車場などの再整備工事を行います。

再生可能エネルギーの推進

地域が主体となった再生可能エネルギーの地産地消都市づくりに取り組みます。

◎再生可能エネルギープロジェクトの推進（エネルギー推進課） 2,733 万円

地域の自然資源を活用した「再生可能エネルギーの地産地消」の取り組みを進めます。

また、ドイツのシュタットベルケ（都市公社）を参考に、市も再生可能エネルギー事業に主体的に参画し、エネルギー事業で得た収益を、地域の課題解決などに活用できる仕組みづくりに取り組みます。

地域に豊富に存在する再生可能エネルギーを活用して「地域内経済循環」を創出し、持続可能な地域づくりを進めます。

- ◆再生可能エネルギープロジェクト推進事業（2,688 万円）
- ◆宮古市スマートコミュニティ推進協議会の運営（45 万円）

公共交通の構築

快適で持続可能な公共交通の構築に取り組みます。

◎持続可能な公共交通の構築

1 億 3,279 万円

公共交通は、地域住民の移動手段だけでなく、まちづくりのさまざまな分野で大きな効果をもたらす地域の共有財産です。市民が主体となって公共交通を考え、積極的・継続的に関与することが必要です。宮古市地域公共交通網形成計画に基づき、バリアフリー化などにより施設の利用環境の改善を図り、快適で持続可能な公共交通の構築を進めます。

◆駅バリアフリーに係る計画策定（公共交通推進課）（1,260 万円）＝宮古駅周辺と八木沢・宮古短大駅周辺地区においてバリアフリー化の方針を定めます。

◆三陸鉄道の経営強化支援など（公共交通推進課）（4,035 万円）＝県と沿線市町村では、一体となって三陸鉄道の安全・安定運行を支えるため、施設や設備の維持管理のほか、老朽化した施設の更新などにかかる費用を助成します。また、利用者の増加を図るため、PR活動などの各種事業に取り組み、三陸鉄道を支援します。

◆J R 山田線の利用促進（公共交通推進課）（170 万円）＝J R 山田線の利用促進を図るため、J R 山田線を利用したツアーへの支援や日常利用者への助成を行います。

◆路線バスの運行維持支援など（公共交通推進課、川井総合事務所）（6,914 万円）＝市民の交通手段を確保するため、バス事業者に対して赤字で運行が困難な路線の運行経費の一部を助成します。また利用者の増加を図るため、バス事業者と連携して利用促進のためのPR活動に取り組みます。川井から小国間では、川井地域バスを運行し、交通手段を確保します。

◆新里・川井地域タクシー運行体制構築事業（新里・川井総合事務所）（900 万円）＝公共交通機関の不足している過疎地域において、交通弱者対策としての体制を構築します。



公共交通機関のバスを利用する様子

港湾振興

客船などの誘致

宮古港を拠点とした地域活性化のため、客船などの誘致に取り組みます。

◎外国クルーズ船などの誘致受け入れ（港湾振興課） **3,180万円**

宮古港の利用促進のため、客船歓迎事業やクルーズ船の誘致に向けたポートセールス、受け入れ態勢の整備を進めます。

- ◆宮古港利用促進
- ◆客船歓迎事業、ポートセールスなど

■令和2年のクルーズ船寄港予定一覧

期日	船名	入港時間	出港時間	場所
5/4(月)	ぱしふいっく びいなす	7:30	17:00	藤原ふ頭
8/2(日)	コスタ ベネチア 《初寄港》	13:00	21:00	
8/30(日)	ぱしふいっく びいなす	7:00	19:00	
10/23(金)	レガッタ 《初寄港》	8:00	18:00	
10/26(月)	ダイヤモンド・プリンセス	7:00	18:00	

初寄港船舶の紹介



コスタ ベネチア（8/2 入港予定）

総トン数	135,225 トン	乗客定員	5,260 人（最大）
全長	323.6 ㍎	乗組員数	1,278 人
全幅	37.2 ㍎	運航会社	コスタクルーズ（イタリア）
船籍	イタリア		

レガッタ（10/23 入港予定）

総トン数	30,277 トン	乗客定員	684 人
全長	181.00 ㍎	乗組員数	400 人
全幅	25.46 ㍎	運航会社	オーシャニアクルーズ（アメリカ）
船籍	マーシャル諸島		



Image courtesy of Oceania Cruises

産業

産業振興

活気に満ちた産業振興都市づくりを進めるため、支援や施設整備などを行います。

◎海面養殖・陸上養殖にかかる調査（水産課）

1,915 万円

宮古湾におけるトラウトの海面養殖、ホシガレイの陸上養殖の可能性を調査します。調査で飼育したトラウトは4月から7月まで、ホシガレイは7月から令和3年1月まで宮古市魚市場に上場し、流通調査を行います。

- ◆トラウト（海面養殖）の調査事業（1,315万円）
- ◆ホシガレイ（陸上養殖）の調査事業（600万円）



養殖されたトラウトサーモン

◎重茂味ロード魅力発信（水産課）

2,913 万円

重茂地区の産業振興・賑わい創出のため、水産加工体験・海産物の販売・観光資源の魅力発信・交流人口の拡大などに取り組みます。

その中で令和2年度では、重茂地域を中心に観光客誘致の周回ルートパンフレットの作成および数カ所に観光表示（デザイン）看板の整備を行います。

- ◆観光客集客誘致費など（113万円）
- ◆表示看板設置工事（2,800万円）など



重茂味まつりでの海藻小袋まきの様子

◎産業用地整備（産業支援センター）

3,800 万円

産業活性化や企業誘致のために、防災集団移転促進事業で取得した土地の利活用と、企業立地による産業振興を図るため、金浜地区に産業振興用地を整備します。

子育て応援

保育料などの無償化

令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い、利用料や副食費を給付します。

◎施設等利用給付（こども課）

2,690万円

新たに対象となる施設の利用者が「保育の必要性」があるという認定を受けた人に利用料を給付します。

◆対象となる施設など へき地保育所、児童館、私立認可外保育施設、一時保育、病後児保育、ファミリーサポートセンターでの子どもの預かり

◎副食費給付（こども課）

4,151万円

実費徴収することとなった副食費について給付を行います。

◆給付上限額 4,500円（1人あたり/月）



昼食を食べる保育園児

修学への支援

経済的な理由により修学が困難な学生に、奨学金を貸し付けます。

◎奨学金の貸し付け（学校教育課）

6,823万円

◆高校生 月額2万円、入学一時金上限10万円

◆大学生、短大生、専門学生 月額上限8万円、入学一時金上限30万円

◆大学生、短大生、専門学生（特別奨学生） 月額上限16万円、入学一時金上限30万円

※若者のUターンを促し、本市の将来にわたる発展を担う人材の確保と定住を促進するため、Uターン就業者など条件を満たす人の償還金を免除します（ただし、年間免除額に上限あり）

その他

◎サーモンランド魅力発信（企画課、水産課）

1,215 万円

『サーモンランド』を宣言している本市の魅力をPRするため、映像コンテンツなどによる情報発信、本州一の水揚げを誇る「鮭のまち」、PR看板や鮭の遡上見学場所の整備を行います。

◆シティプロモーション推進（映像コンテンツなどによる情報発信）
（615万円）

◆市民意識の醸成や観光客へのPR看板、鮭遡上見学場所の整備
（600万円）



サーモンランドのマーク

※ サルモンランドとは

本市全域を指します。古くから鮭を育ててきた自然と人々の歴史とその心、それらを深く理解し、大切に市民であること、鮭のごとく力強く活動し、心の豊かさやゆとりを実感できるまちを築くことを決意し、平成19年1月1日に『サーモンランド』と呼ぶことを宣言しました。

◎復興オリ・パラ推進事業（生涯学習課）

1,239 万円

東京オリンピック・パラリンピックの開催にあたり、ホストタウンに認定されたナミビアなどとの交流事業や参加選手の応援を実施します。

また、聖火リレー関連事業および聖火フェスティバルを実施します。



ナミビア代表のラグビー選手と市民との交流の様子

◎宮古市庁舎跡地の整備（都市計画課）

7 億 9,014 万円

旧宮古市本庁舎および分庁舎を解体し、庁舎跡地に公園を整備します。

また、公園内に東日本大震災に関する記憶・教訓を伝えるメモリアルモニュメントを設置します。

◆旧庁舎解体工事（2億8,190万円）

◆跡地公園整備工事（4億9,179万円）

◆震災津波メモリアル施設整備工事（1,645万円）など



庁舎跡地整備後のイメージ図